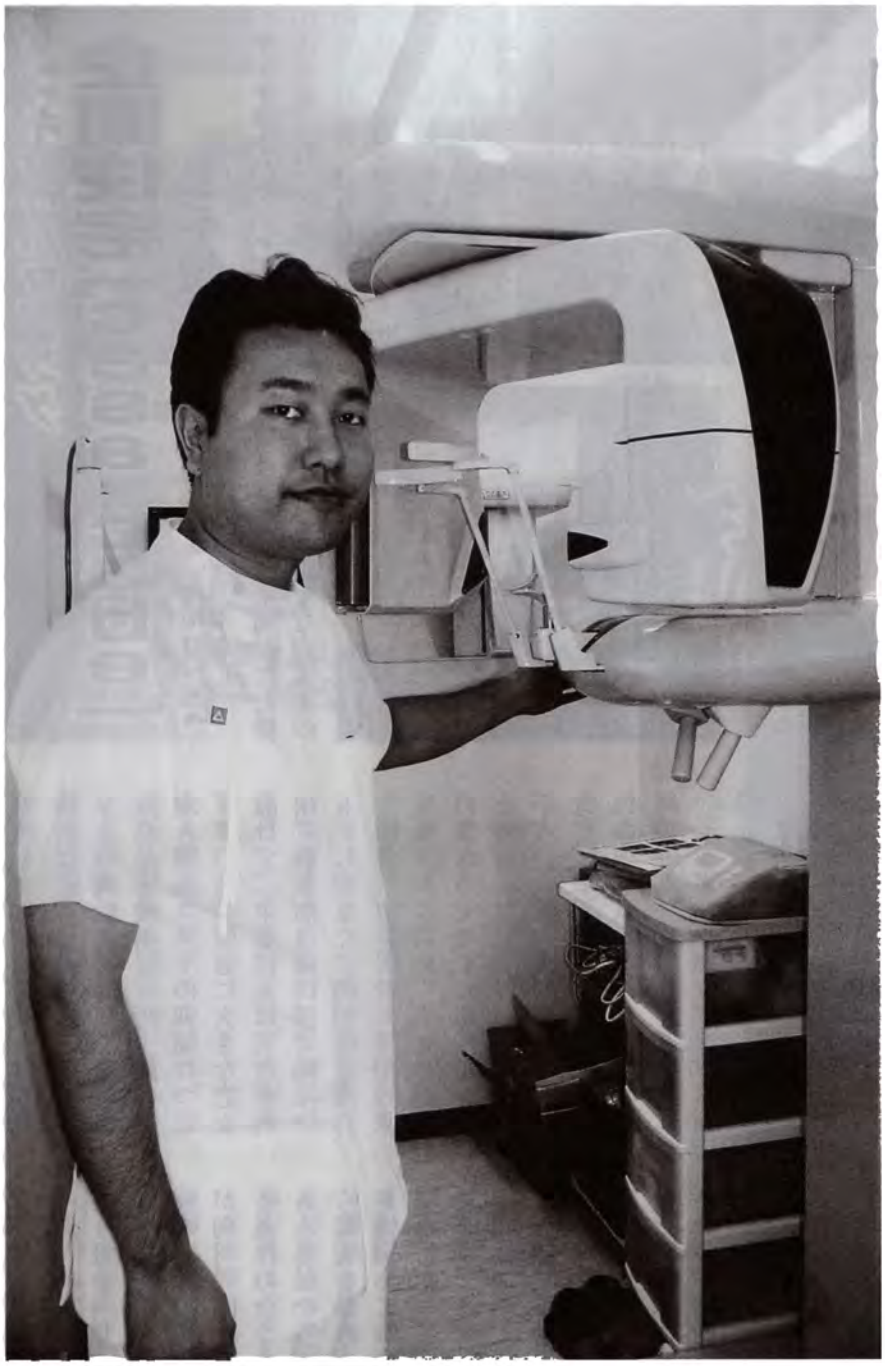
備後初の歯科CT導入
安心で優しい医療を



8月、備後・井笠・浅口地区の歯科医院では初という「歯科用CT」を導入した。体の断面画像などを撮影し診断に役立てるCTは、今やおなじみの臨床検査機器。だが、高度な技術を用いるだけに値段も高く、開業医が購入するとなると負担が大きい。全国で設置している歯科医院は一%以下、欧米でさえ二―三割とされる。

「それでも、医師としてCTのさまざまな利点を知ってしまった以上、持っていないのは患者さんに申し訳ないと思った」。高いプロ意識が設備投資に踏み切らせた。

一ミリ単位で顔断面を撮影、3Dグラフィック化して立体的に把握できる歯科用CT。二次元のレントゲン写真とは情報量が段違いで、被ばく量も少ない。「一般の医療用CTと比べても画像の精度・密度が高い。根拠のはっきりした、安全性の高い医療が行える」

人工歯根を埋め込む「インプラント」のための情報入手をはじめ、表面に出ていない親知らずなどの「埋伏歯」の方向を確認するなど、CTの用途は幅広い。「あごの骨の厚みや幅など、施術に必要なデータを正確に得られる」。診療用チェア横にモニターを置き、患者に画像を示しながら治療方針を伝える。「より詳しく、分かりやすく説明できる。患者さんにもイン

この人に聞く

たなか歯科　院長

笠岡市有田出身。岡山県立笠岡高校から岡山大学歯学部へ進む。大阪の歯科医院に勤めて先端技術を学んだ後、平成13年に帰郷し「たなか歯科」を開院。「より精度が高く安全な医療を提供したい」と8月、近隣エリアの歯科医院では初という「歯科用CT」導入に踏み切った。学会やセミナー出席にも意欲的で「完全な休みは年に2日ほど」。37歳。

たなか歯科
笠岡市吉浜2480-4
TEL 0865-69-6701

田中賢治さん

たなか・けんじ

パクトがあるようで、納得して治療を受けてもらえる」

ほかにも「症例の検討が容易」「ほかの施設に患者を紹介する際にデータを転送しやすい」「撮影を外部委託するより素早い対応が可能」などメリットは多く、母校である岡山大学歯学部にも同じ機械がある。導入以来、たなか歯科にはたくさんの関係者が見学に訪れるといい「今後は確実に普及していくはず」。時代を先取りした一手に自信を見せる。

啓発と情報提供に努力

昭和47年、笠岡市有田に生まれる。「親せきが歯医者をしていて、『人の痛みを取り除く』医療に興味があった」。岡山県立笠岡高校から岡大歯学部へ進む。平成10年に卒業し、大阪府堺市の歯科医院に勤務。「インプラントでは有数のドクターで、歯列矯正なども含めひと通りの先端技術を学んだ」。そのまま大阪で開業する選択肢もあったが、身に付けた技を古里に還元したいと帰郷、13年に現在地で開院した。

柱はインプラントと矯正、審美。従来の銀歯などではなく、セラミック製で変色のない歯を埋め込む審美治療は、インプラントとともに近年、メジャーになってきた。

「セラミックは人体への親和性も機能も高く、安全で見た目も美しい。こうした『体に良い治療』へのニーズが強まっている」

そもそも虫歯や歯周病にならずに済めば、それが一番「体に良い」。そこで力を入れているのが「予防歯科」。八人いる歯科衛生士をソル動員し、通常の歯磨きだけではできない歯石除去のための定期的な来院など啓発に努める。

「安心」「優しさ」「情報提供」がモットー。治療に伴う痛みは極力少なくし、残せる歯はできるだけ残すよう心掛ける。患者とのコミュニケーションにはとりわけ意を尽くし、初診の際の聞き取りにはじっくり時間を割く。「『痛い』『怖い』のイメージが付きまとう歯医者の敷居を低くしたい」との願いからだ。また、通院する子どもたちに健康な歯を守る習慣を実践してほしいと、虫歯予防の会「にこにこクラブ」を立ち上げて活動する。

歯科用CTでの撮影

大都市圏では歯科の競争が激化し、「毎日廃業者が出る」とさえいわれる。最近では備後周辺での開業も目立ち、競合が懸念されるが「歯科医にとって大切なのは、競うよりも啓蒙すること」と語る。「歯医者さんにかかるべき人が一〇人いるとしたら、そのうち一―二人しか受診していないのが現状。残りの人に対し、いかに治療の必要性を認識していただくかが大事だ。歯の健康を守る意識が高まれば、現在の歯科医数でも問題に合わなくなるのでは」

今後の歯科医療は予防中心にシフトしていくとみるが「高齢化につれ、快適に食事ができるインプラントの需要も一層増えるだろう。口臭や口内雑菌など、患者さんの悩みも刻々変化していく」。日進月歩の技術知識を吸収しようと、毎週のように学会や勉強会、セミナーに参加。東京・大阪や海外を飛び回り、息つく暇もない毎日だ。

「コンセプトは『治療が終わってからが本当のお付き合いの始まり』」。CT導入を契機に、「通うのが楽しい歯医者」づくりをさらに進展させたいと意気込む。